

# “名ばかりの均てん化”を 嘆いても始まらない

～「どさんコロジー」から地域を超えて  
緩和ケアを考える～

みんなで語り、  
地域の緩和ケアの  
これからを  
つくっていきましょう！

## 企画の目的



北海道の有志が取り組む「どさんコロジー」の活動をモデルケースとして、地域の人々が、そこに住まい続けるために必要な緩和ケアを、自分事として考え、求め、行動する。そして地域を超えてこれらの活動を支援する——この視点を共有し、目の前の人たちの苦しみに寄り添うための地域に根ざしたリージョナルな取り組みを考え、各地の悩める仲間や先達たちとの一層の連携の足掛かりとしたい。

## 企画の概要



全国の各地域で緩和ケアの普及に取り組む方々と小グループに分かれて討議を行います。“緩和ケアの地域における目標やあるべき姿(「均質化」ではない「均てん化」とは?など)”を原点に立ち返って議論し、意見交換を行っていただきます。地域の緩和ケアを支える様々な職種の視点を共有できることを願っています。

## こんな方におすすめ



- 地域で緩和ケアの普及・連携に取り組んでいる方
- 地域での課題を共有し、他地域の実践から学びたい方
- 多職種で連携し、地域の緩和ケアの未来を考えたい方

日時：6月20日(土) 午前7時30分～8時30分

会場：第2会場  
(函館国際会議場 2階 多目的ホール201+202)

開催形式 小グループディスカッション

主催 どさんコロジー有志



裏面は問いません。  
お気軽にご参加ください

## 話題の例

- 遠隔医療(D to ○○)の活用のしかた
- インターベンション(神経ブロック、IVR)の広げ方
- 地域の緩和ケアスタッフが動け合える顔の見える関係の育て方
- 緩和ケアのすそ野(一般医療者の基本的緩和ケア)の広げ方
- 医療施設や地域における緩和ケア活動の後進の育て方
- 医療資源が本当に乏しい地域での現実的な緩和ケアの取り組み方
- 緩和ケア医、研修医のリクルートと支援のしかた

ともに考え、ともに行動し、地域の緩和ケアの未来をつくりましょう！  
すべての地域での地域緩和ケアの均てん化の実現をめざして——